

鳴海氏が再選

中村氏を大差で破る

黒石市長選 投票率71・44%

当選 15, 535 鳴海広道 61 無現

6, 453 中村淳治 72 無元

任期満了に伴う黒石市長選挙は二十三日投票が行われ、開票の結果、現職の鳴海広道氏(61)「無所属」が一万五千五百三十五票を獲得、元職の中村淳治氏(72)「無所属」に九千八十二票の大差をつけ、再選を果たした。旧来の支持関係が両陣営でねじれ合い混戦模様となつた中で、鳴海氏は四年前取り組んできた財政再建の継続を中心に訴え、市議の過半数の支持や自民党を中心とする県選出国會議員、県議らの応援をバックに現職の強みを生かした。

投票率は低調ムードを反映して71・44%にとどまり、過去最低だった一

九七〇年の73・21%を下回り、ワースト記録となった。当選した鳴海氏は今年三月の市議会定例会で、財政再建をはじめとする市政の課題に継続的に取り組む意欲を強調し、再選出馬を表明した。選挙戦では市議十八人(欠員二)のうち十人の支持を得た上、前回市長選で戦った高橋憲県議や国會議員らの応援を確保。人脈をバックに市政継続を訴え、市長の座を守った。一方、中村氏は七四年から三期十二年間、市長を務めた後の政治的ブランク、出馬表明の遅れなどが響き、現職支持層を切り崩せなかった。

当選確定の報に支持者らと万歳をする鳴海広道氏 午後10時2分

